週刊日本株レポート（4/27～5/8）

～ 新型コロナウイルスの国内における感染拡大懸念が残る中、大型連休を控え週後半にかけて軟調な展開 ～

2020年4月27日作成

1. 日米株式と円／ドルの推移

＜日本株（日経平均）＞

＜米国株（NYダウ）＞

＜円/ドル＞

（注）チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/3/31	2020/4/24	過去3年高値		過去3年安値	
		（前年末）	（前月末）	（前週末）	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	18,917.01	19,262.00	24,448.07	2018/10/2	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	21,917.16	23,775.27	29,568.57	2020/2/12	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	107.54	107.51	114.73	2017/11/6	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場　先週の振り返り

～ 原油価格の急落や、世界的な景況感の悪化による景気減速懸念の高まりを受け、下落 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲635.26円（▲3.19%）、TOPIXが▲21.25ポイント（▲1.47%）となり、原油価格の急落や、世界的な景況感の悪化による景気減速懸念の高まりを受け、下落しました。業種別（東証33業種）でみると、海運業、鉱業、証券・商品先物取引業などの9業種が上昇する一方、空運業、電気機器、鉄鋼などの24業種が下落しました。

週初の20日は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とする景気減速が意識される中、先々週末に株価が大きく上昇したことを受けた利益確定売りが優勢となり、下落して始まりました。その後は、NY原油先物（WTI）の5月物が史上初めてマイナスとなるなど原油価格が大きく下落したことで、エネルギー企業の業績悪化や産油国の財政悪化に伴いオイルマネーが株式市場から流出するとの思惑から、軟調に推移しました。23日には米国の一部の州において経済活動を再開する動きが拡がったことなどから株価は上昇したものの、週末24日には①米欧のPMI（購買担当者景気指数）が軒並み悪化したこと、②内閣府月例経済報告において基調判断が11年ぶりに「悪化」とされたことなどから、下落して引けました。

3. 今週・来週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
4月27日	Mon	日本	日本銀行、政策委員会・金融政策決定会合	－	－
4月28日	Tue	日本	失業率	3月	+2.4%
		米国	FOMC（米連邦公開市場委員会）29日まで	－	－
			消費者信頼感指数	4月	120.0
4月29日	Wed	米国	GDP（国内総生産）速報値（年率/前期比）	1-3月期	+2.1%
4月30日	Thu	日本	鉱工業生産（前月比）	3月	▲0.3%
		中国	製造業PMI	4月	52.0
			非製造業PMI	4月	52.3
		欧州	ECB（欧州中央銀行）政策理事会		
			ユーロ圏GDP速報値（前期比）	1-3月期	+0.1%
			ユーロ圏CPI（消費者物価指数）（除食品・エネルギー・たばこ/前年比）	4月	+1.0%
5月1日	Fri	米国	ISM製造業景況指数	4月	49.1
5月4日	Mon	米国	製造業受注（前月比）	3月	+0.0%
5月5日	Tue	米国	貿易収支	3月	▲399億ドル
			ISM非製造業景況指数	4月	52.5
5月6日	Wed	欧州	ユーロ圏小売売上高（前月比）	3月	+0.9%
		ドイツ	製造業受注（前月比）	3月	▲1.4%
5月7日	Thu	中国	貿易収支	4月	+199.0億ドル
		ドイツ	鉱工業生産（前月比）	3月	+0.3%
5月8日	Fri	米国	非農業部門雇用者数変化	4月	▲70.1万人

決算発表予定　他		
日本	決算発表	4/27 ルネサスエレクトロニクス、京セラ、大和証券、日東電工、日立ハイテク、日立建機、JR東海、第一三共 4/28 オリエンタルランド、キーエンス、シマノ、ヒューリック、中国電力、信越化学工業、富士通、小林製薬、NEC、東京ガス、JR東日本、、豊田通商、野村総合研究所、ANA、LINE、NTTドコモ、SCSK、ZOZO 4/30 コーセー、デンソー、京成電鉄、伊藤忠テクノソリューションズ、大塚商会、JT、日本証券所グループ、日本航空、村田製作所、東京エレクトロン、東京電力HD、東武鉄道、JR西日本、豊田自動織機、SGHD、TOTO 5/1 三井物産、協和キリン 5/7 NTTデータ、丸紅、任天堂 5/8 サントリー食品インターナショナル、ライオン、リコー、三菱商事、伊藤忠、住友商事、住友金属鉱山、日本製鉄、野村ホールディングス、HOYA
海外	決算発表	4/27 バイエル薬品 4/28 スターバックス、ファイザー、ヴァーレ、3M、BP、HSBC、UBS、アドバンスト・マイクロ・デバイシズ、アルファベット、キャタピラー、バルティス、UPS 4/29 エアバス、クアルコム、グラクソ・スミスクライン、GE、ダイムラー、ドイツ銀行、バークレイズ、テスラ、フェイスブック、フォルクスワーゲン、ボーイング、マイクロソフト、マスターカード、サムスン電子、アフラック 4/30 アップル、ANZ銀行、アマゾン、コムキャスト、ビザ、マクドナルド、ツイッター、ロイヤル・ダッチ・シェル 5/1 エクソンモービル、シェブロン 5/4 ウェストパック銀行 5/5 BNPパリバ、ウォルト・ディズニー 5/6 BMW、ゼネラルモーターズ 5/7 ウーバー 5/8 シーメンス

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場　今週・来週の見通し

～ 新型コロナウイルスの国内における感染拡大懸念が残る中、大型連休を控え週後半にかけて軟調な展開 ～

今週と来週の日本株市場は、新型コロナウイルスの国内における感染拡大懸念が残る中、大型連休を控えた持ち高調整の動きから軟調な展開が続くと予想します。今週は、27日に日銀金融政策決定会合、28～29日にFOMC、30日にECB政策理事会が開催され、これらの緩和的な金融政策姿勢が再確認されることが、株価の下支え要因として働くとみています。また、米欧における経済活動の正常化の動きが更に拡がれば株価上昇に繋がることも想定されます。但し、国内においては新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりで推移する中、週後半にかけて来週の大型連休中の状況悪化を懸念したリスク回避的な持ち高調整の動きが強まり、軟調な展開になると予想します。また、大型連休後も、企業決算の本格化を前に業績悪化懸念を背景に積極的な買いは見込み難く、軟調な展開が続くと予想しています。

その他の注目材料として、日本では28日の失業率、30日の鉱工業生産、米国では29日のGDP速報値、1日のISM製造業景況指数、4日の製造業受注、5日のISM非製造業景況指数、8日の非農業部門雇用者数変化、欧州では30日のユーロ圏GDP速報値、中国では30日の製造業・非製造業PMIなどが挙げられます。

※　来週はゴールデンウィークにつき、次回週刊日本株レポートの発行は5月11日とさせていただきます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL：http://www.alamco.co.jp

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第301号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。